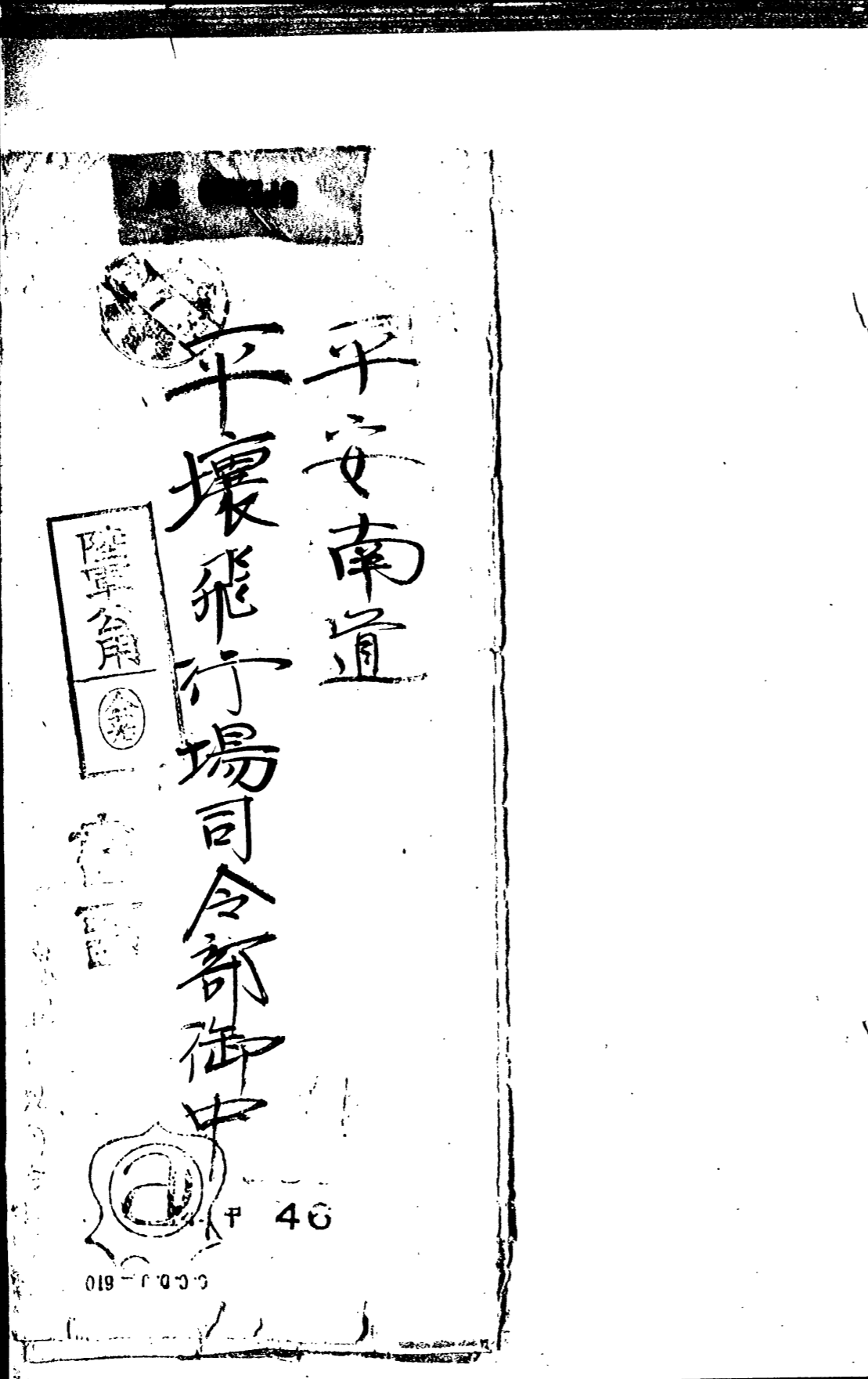


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	
	③ 赤
配架番号	3 A
	14
	25-13



平安南道

平壤飛行場司令部御中

陸軍
角

陸軍

019-1000

46

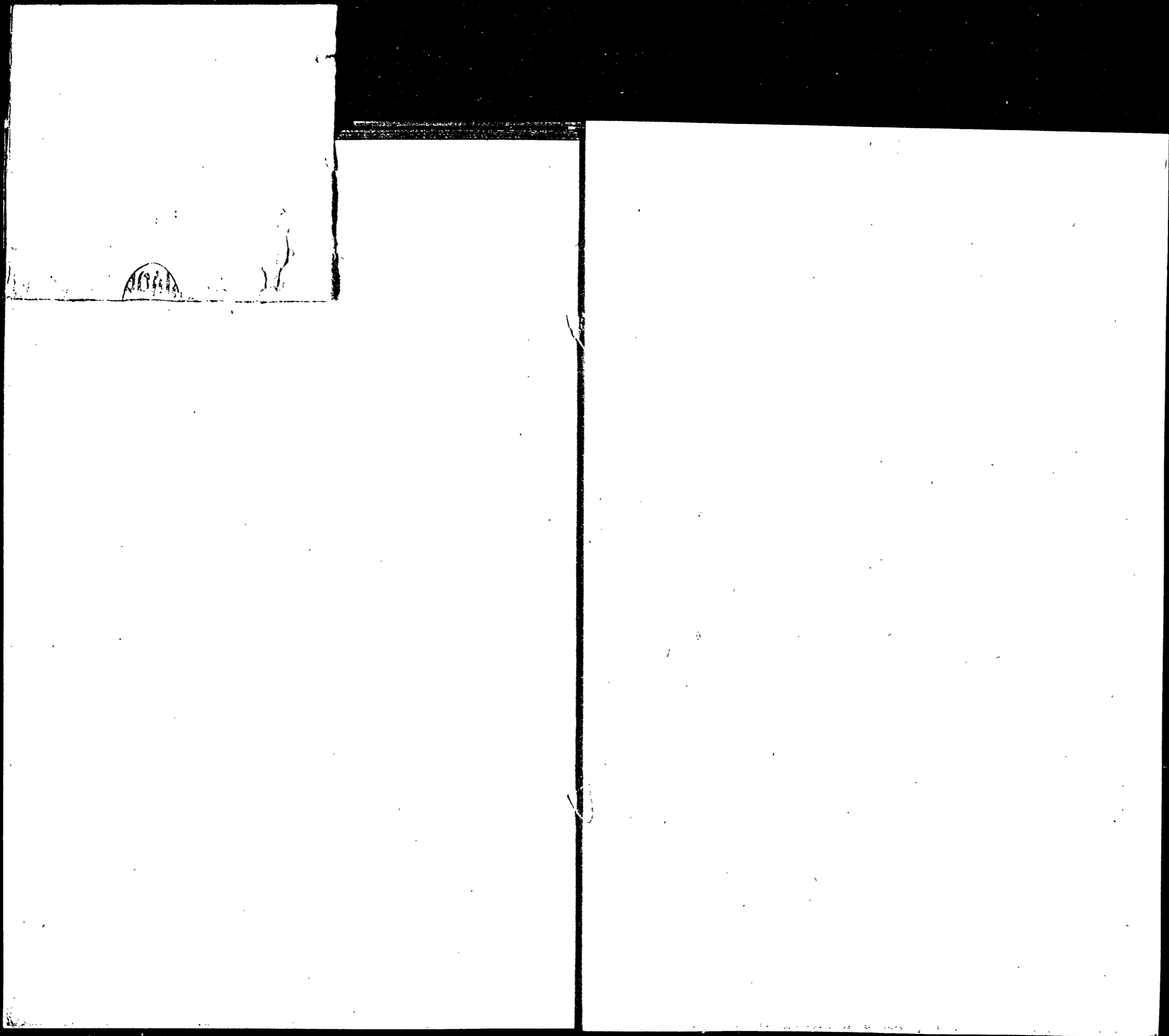
在中物なし

豊後縣米馬五箇付
請第九四六部隊

10011

在中物なし

めくれず



軍事極秘

米子飛行場

昭和二十一年三月
第六飛行場中隊
第六飛行場中隊

米子飛行場
第六飛行場中隊

昭和二十一年三月

昭和二十一年三月
第六飛行場中隊
第六飛行場中隊

米子飛行場使用ニ関スル規定本冊ノ通リ定ム

昭和二十年六月一日

米子飛行場司令 岩本幸策
米子飛行場長 牧義生

第六條 米子飛行場

第三條 米子飛行場

第一章 總則

第二章 飛行場内ニ於テ之航空附屬

第三章 飛行地域内ノ交通統制

第四章 飛行實施

第五章 飛行機ノ分散配置

第六章 空地連絡

第七章 警報ノ傳達

第八章 保安施設ノ利用

第九章 飛行場保護其他

米子飛行場規定

第一章 總則

- 一 本規定ハ航空總軍飛行場管理及勤務令ハ規定スル航空路飛行場勤務令航空兵操典ニ基キ米子飛行場ノ使用ニ關シ飛行場司令(飛行場長)ノ定ムルキ事項ヲ規定ス
- 二 本規定外航空兵操典航空部隊地上勤務令航空路飛行場勤務令航空地上部隊及各分科戰手規範其他關係規程ニ據ルベシ
- 三 本規定實施ノ方ハ通過飛行部隊(飛行隊)ノ長ハ所要ノ處置ヲ講ジ飛行場内ニ於テ軍紀風令ヲ遵守シ航空事故ノ防止ニ關ル共ニ防範ヲ謀略成備徹底シ且シ以テ空中右切ヲ避減スルヲモテス
- 四 當飛行場展開各飛行部隊ハ飛行教育訓練等ノ日當飛行ニ關テ是夜界以テ飛行場司令ニ通報シ承認ヲ得ルベシ
- 五 飛行場一般ノ關係附圖第一如シ

第二章 飛行場内区分標識及照燈

六 飛行場内地面区分及配當附圖第一如シ
 七 離着陸方向ノ地面ニ認識シ易カクシテ鳥居方向標示球ヲ揚揚ス

赤 球 — 東 向 白 球 — 西 向

第三節 飛行場内ノ交通規制

- 八 飛行場内ハ格別標示球ノ外ニテハ
 一 出發線ニ在リ飛行機塔東有ニ對シテ必要ノ場合ノ指令等ヲ飛行場司令又ハ自直ノ將校ノ許可ヲ得タル者
 二 飛行機滑走補助機中人員
 三 飛行機滑走補助機及運搬ニ在リ
 四 故急仕スル者
 五 其他ノ人馬車輛ハ飛行場内ニ縁起 通行スルベシトス
 六 滑走地面ニ進入ヲ許可セザル車輛ハ旗ヲ揚揚シ滑走地面外ノ最短経路ヲ直行シ所屬ノ箇所ニ到ルベシトス

第四章 飛行實施

十 當飛行場各機部隊並ニ種々ノ飛行機機體ニ費着スルノミナラズ訓練部隊位置此ノ下也

1. 以下飛行實施之際ハ特種機ヲ要ス
 2. 通過飛行部隊飛行機ハ概テ起ノ如ク行動スルモトス
 3. 飛行場ニ到着セバ飛行場勤務班ノ誘導ヲ依リ行動ス
 4. 飛行機ノ整備ハ勤務班ノ援助ヲ受テ自ラ實施スルモトス
 5. 輸送部隊下指揮下ノ空中輸送人員ハ直後若陸場並ニ至ル航路及出發時刻
 6. 飛行場長ノ指示ヲ受ルモトス
 7. 離陸直後於テ旋回高度ハ通常一五〇米以上トス
 8. 上場目経路ハ晝夜共高度三〇〇米ヲ以テ特示ヲ限リ起旋回トス
 9. 下場目経路ハ附屬第四ノ如シ
 10. 左危急降ニシテ止ム得ル場合ハ外高度三〇〇米以下ニテ飛行場上空ノ横断ヲ禁ズ
 11. 大特種飛行ハ高度一〇〇〇米以上ニテ飛行モトス
 12. 若陸場内経路ニ入ルニハ映ス第一旋回ノ中間ニ於テ高度三〇〇米ヲ以テシテ第一
 13. 回終了ノ順序ニ若陸スルモトス
 14. 大同時ニ若陸シ移ラントスル時ハ單機ハ離陸ハ大型機ハ優先權ヲ讓ルモトス
 15. 但シ故障機ニ在リテハ所定ノ信号ヲ行ヒテ若陸スルヲ防ケス
 16. 右夜間飛行實施ニ當リテハ特種勤務班ハ完全策ヲ講ジテ飛行ヲ安全且容易トシタル如

一 夜間飛行ノ爲メ設備要領附屬第四ノ如シ
 二 若陸地帯内ノ故障機ノ場合ハ若陸待機ノ信号ヲ爲ス共ニ先ツ之ヲ撤去シテ之ヲ撤
 三 去シ得ル時ハ赤燈ヲ明瞭標示シ若陸地帯ヲ他移シテ夜間若陸待機ノ信
 四 号ヲ爲スモトス
 五 夜間若陸地帯内ニ於テ許可シタル機ハ若陸スル時ハ若陸待機ノ信号ヲ爲スモトス
 六 飛行機ノ整備及分散位置並ニ檢査ハ飛行場司令官ノ指定ス
 七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 二十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 三十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 四十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 五十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 六十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 七十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 八十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十一 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十二 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十三 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十四 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十五 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十六 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十七 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十八 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 九十九 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス
 一百 飛行機ハ必要ノ燃料ヲ貯蓄シテ起飛シテ機内ノ燃料計ヲ檢査シテモトス

第七章 警報傳達

警報傳達ハ喇叭号音警報器(ブザー)ノ破滅及電線等ニ依リ迅速確實ニ傳達
徴式ロシムルヲ要ス

飛行場附近ニ在リテハ后警報ヲ承知スルハ此隣相傳ハ整備員等ニ移行シモトス
又警報ノ種類別兩第ニ如シ

第八章 保安施設利用

保安通信所長ハ飛行部隊(機)ニ保安施設ヲ利用スルハ機ノ失及飛行場長ニ報
告スルモトス

出発スル飛行部隊(機)ニ保安施設ノ利用ハ保安施設有テ連絡装置モトス

通過飛行部隊(機)ノ發着電報ハ別令ヲ依リテ保安通信科ニ送付スルモトス

通過飛行部隊(機)ノ發着電報ハ電報發行所ニ送付スルモトス

氣象象觀測所ハ〇〇〇〇六〇〇〇一〇〇〇一四〇〇六天汽圖ヲ調製スル指揮所提出スルモトス

航空定況圖ハ毎時モラ指揮所ニ提出スルモトス

第九章 飛行場保護其他

飛行場内不良個所ヲ發見シタル時ハ何令既ニ速カニ飛行場司令又ハ補修班長ニ

通報スルモトス

兵雨天晴雪後地盤軟弱ナル場合於ハ車馬ノ通行止ムリ得アル場合外道路及補裝路以
外ノ通行ヲ禁ズ

但シ滑走路内ニ於テ飛行機ノ行動ヲ妨スル自、動車ハ此ノ限リニアラス

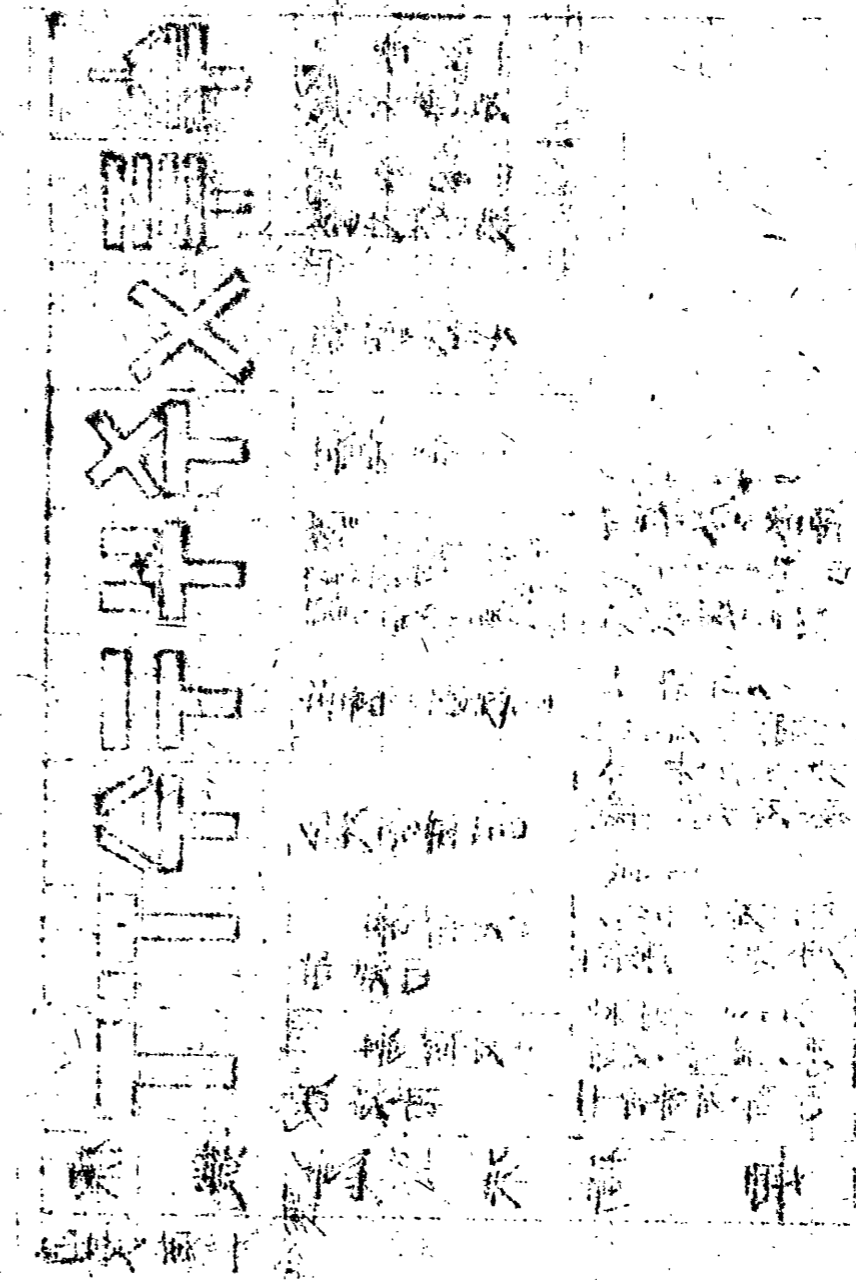
飛行場日中、整備補修ハ飛行場司令官ニ依リテ外兵力ヲ要スル時ハ所在地部隊

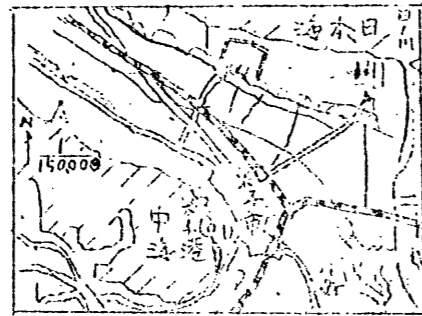
ハ飛行場司令官ノ要求ニ依リテ協力スルモトス

人傳染病流行指定地ヨリ出發スル者(飛行機員)ニ対シテハ檢疫ヲ行フ其ノ細部ハ別ニ
規定ス

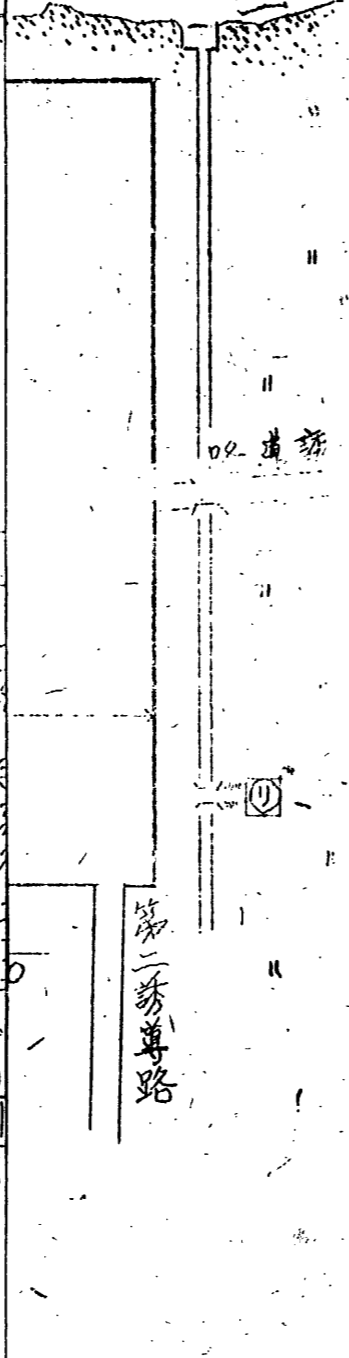
附表第二

備考	警報の種類				警報の区分	警報の種類	警報の伝達法
	火災号音	瓦斯警報	警戒警報	空襲警報			
一標識の吹流附近に掲揚ス	火災号音	瓦斯警報	飛行機警報	非常呼集	喇叭	サイレン	發令者
		短音連続	一分間連續	四秒五回		標識	
		黄	青	赤			飛行場司令 危急の場合 日直解校





附圖第一



02 道線

第二誘導路

- ① 中央氣象台水大航空観測所
- ② 勤務隊
- ③ 路標方向探知所 (東経 一三三度一分 北緯 三五二七四三)
- ④ 航空局羅針針 (東経 一三三度一分 北緯 三五二七四三)
- ⑤ 飛行場中隊指揮所

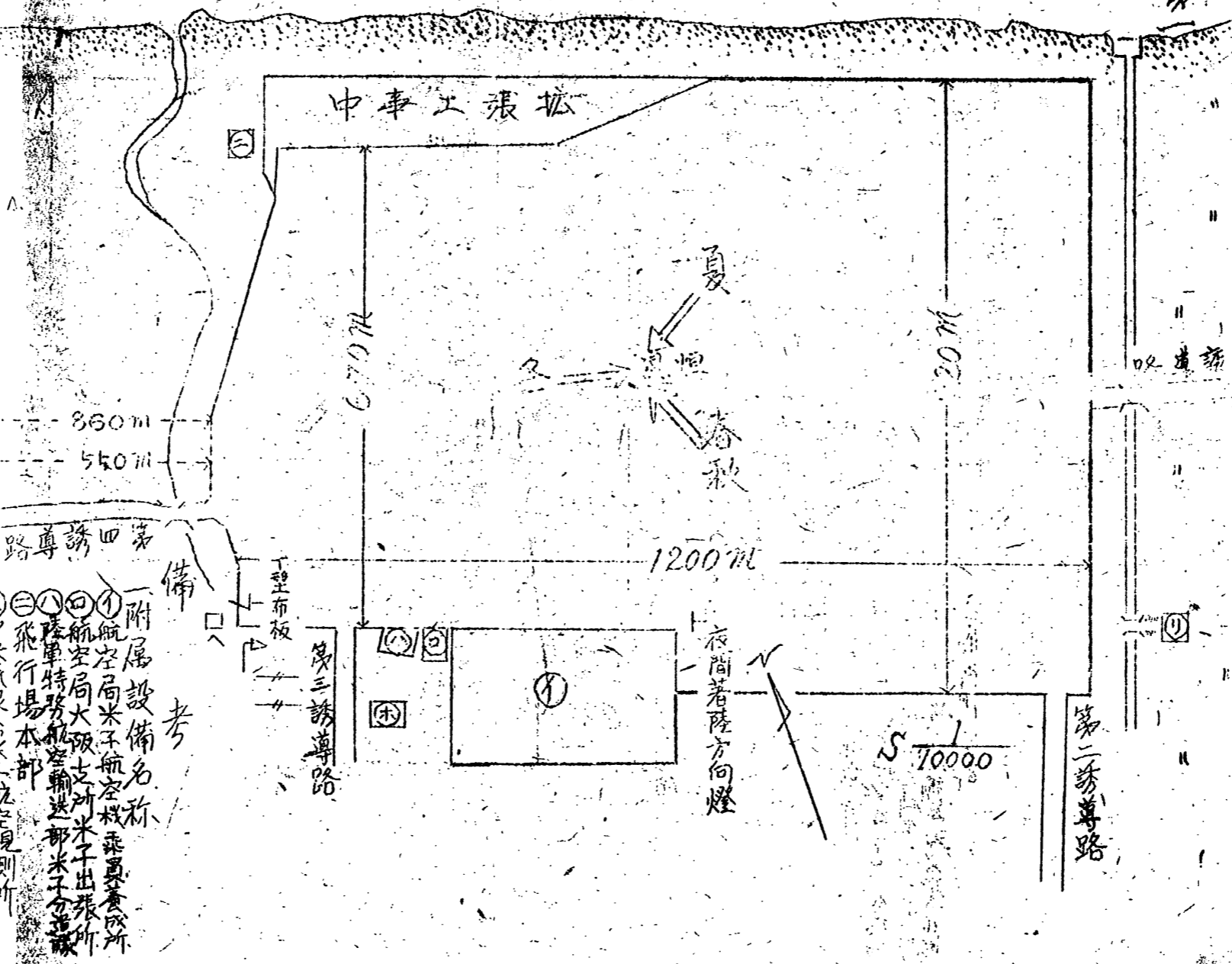
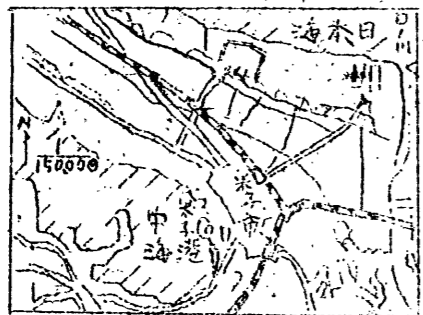
海軍	海軍	海軍	海軍	海軍
大員	大員	大員	大員	大員
...
...
...
...
...
...



米子飛行場一般図

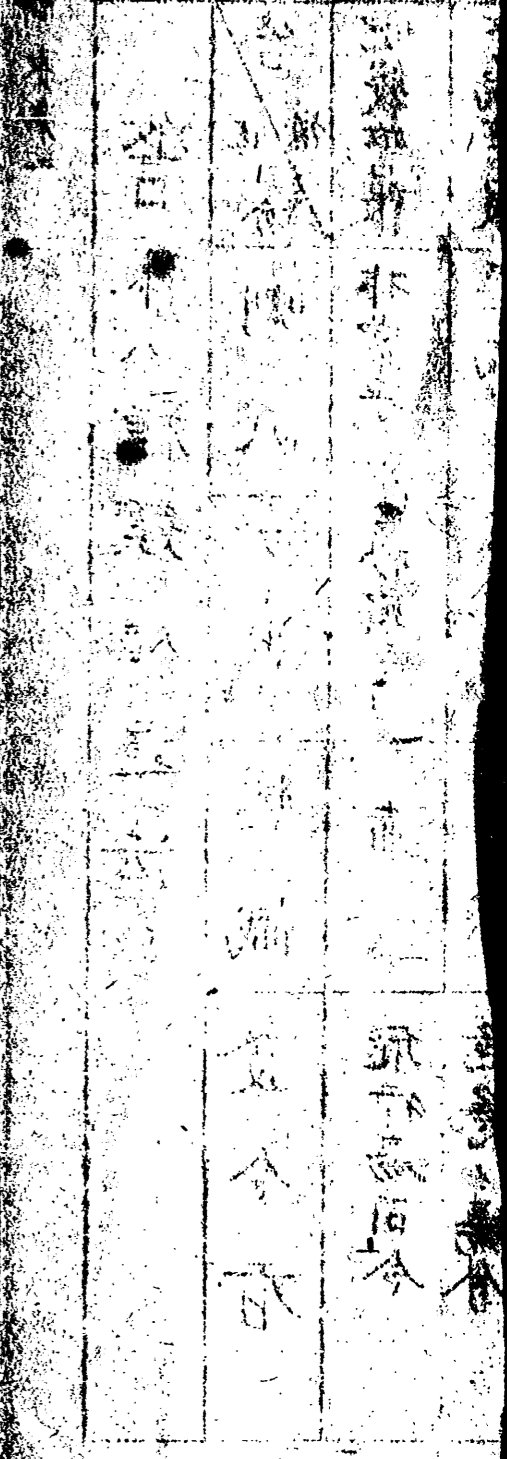
日本海

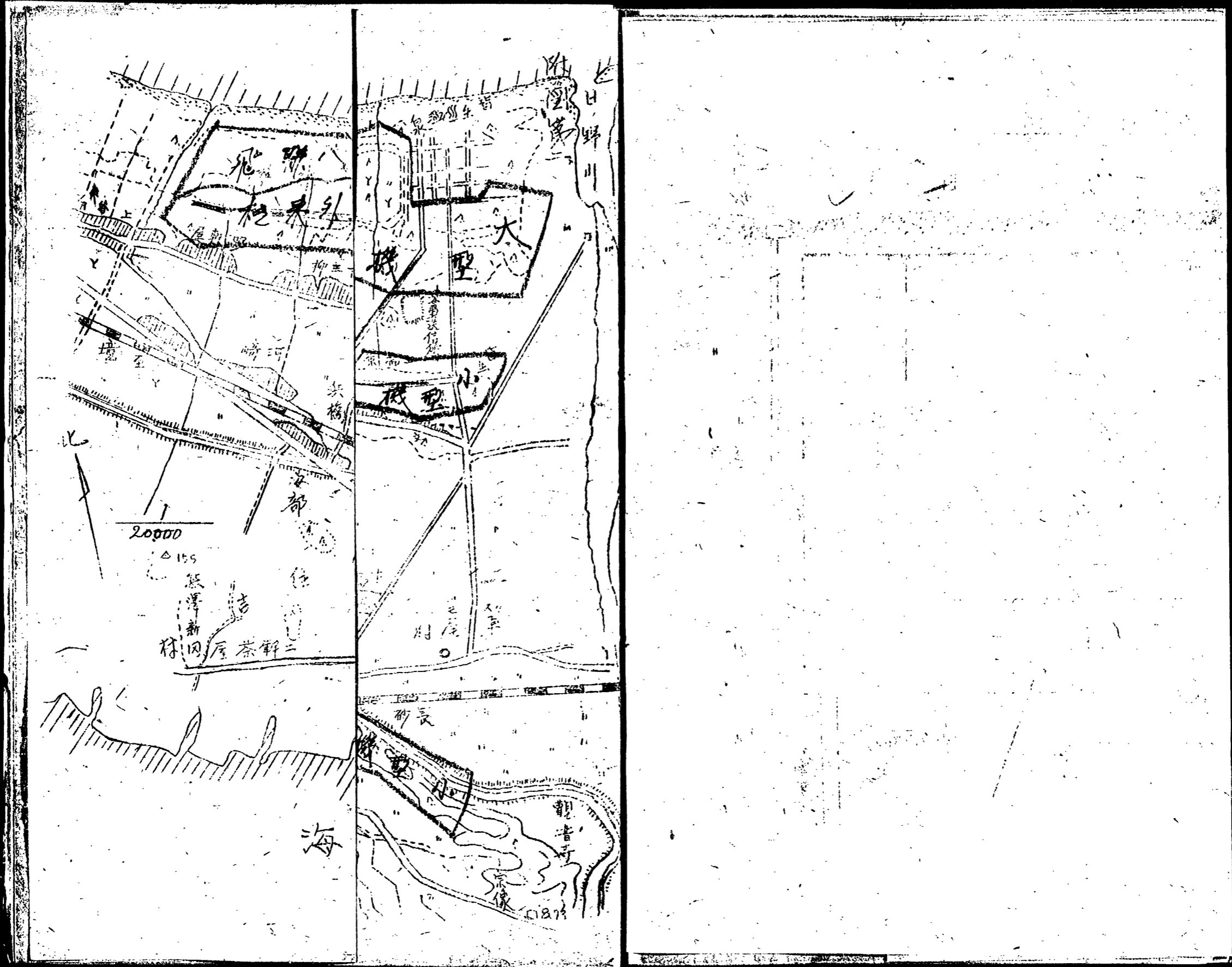
附圖第一



- 第一附屬設備名稱考
- ① 航空局米子航空校乗員養成所
 - ② 航空局大坂支所米子出張所
 - ③ 陸軍特務航空輸送部米子分隊
 - ④ 飛行場本部
 - ⑤ 中央氣象台米子航空観測所
 - ⑥ 勤務隊
 - ⑦ 路部方向探知所(東線 一三三九分)
 - ⑧ 路部方向探知所(北線 三五二七四三)
 - ⑨ 航空局羅針中継(東線 一三三九分)
 - ⑩ 航空局羅針中継(北線 三五二七四三)
 - ⑪ 飛行場中隊指揮所

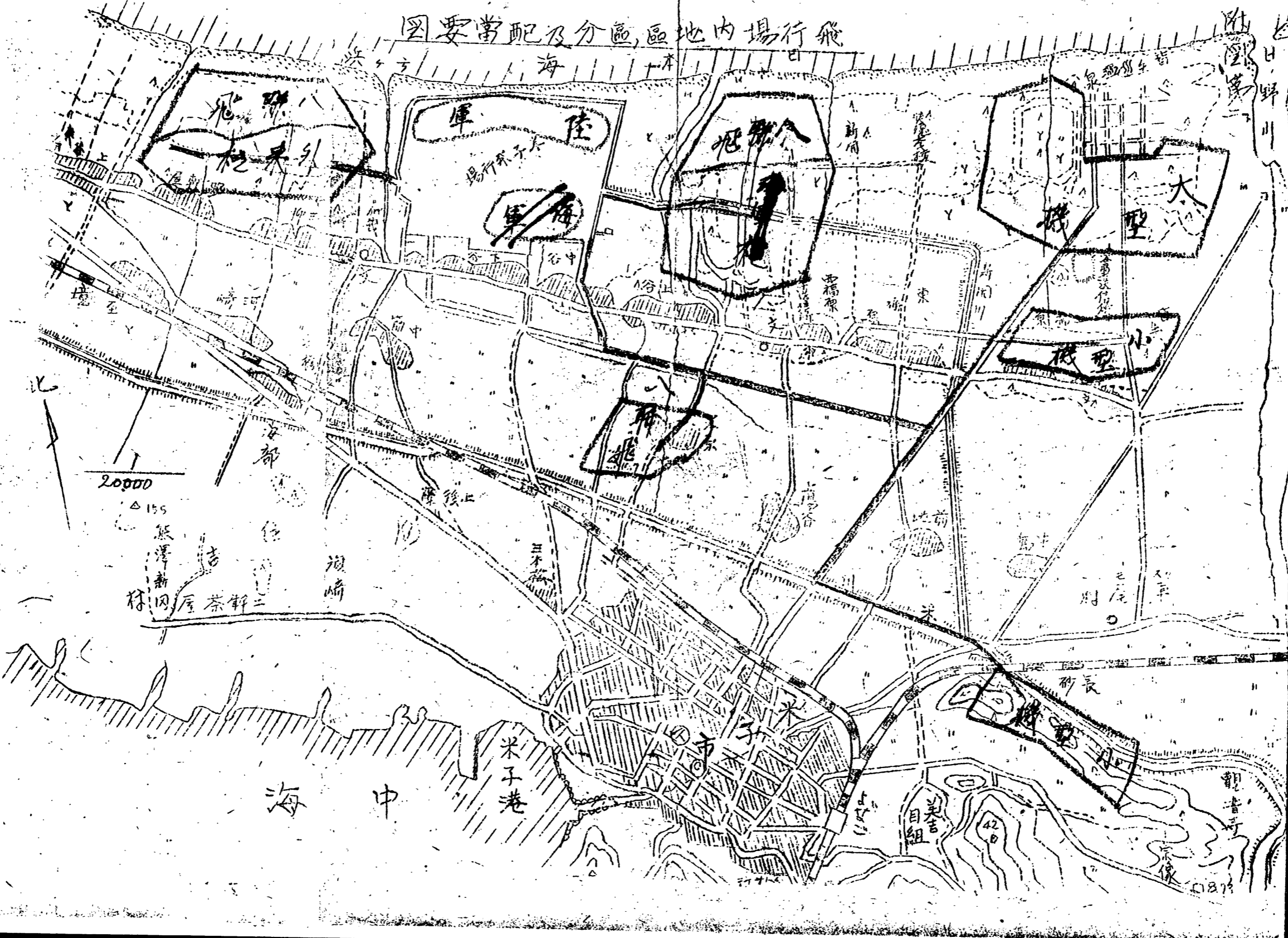
裏面白紙



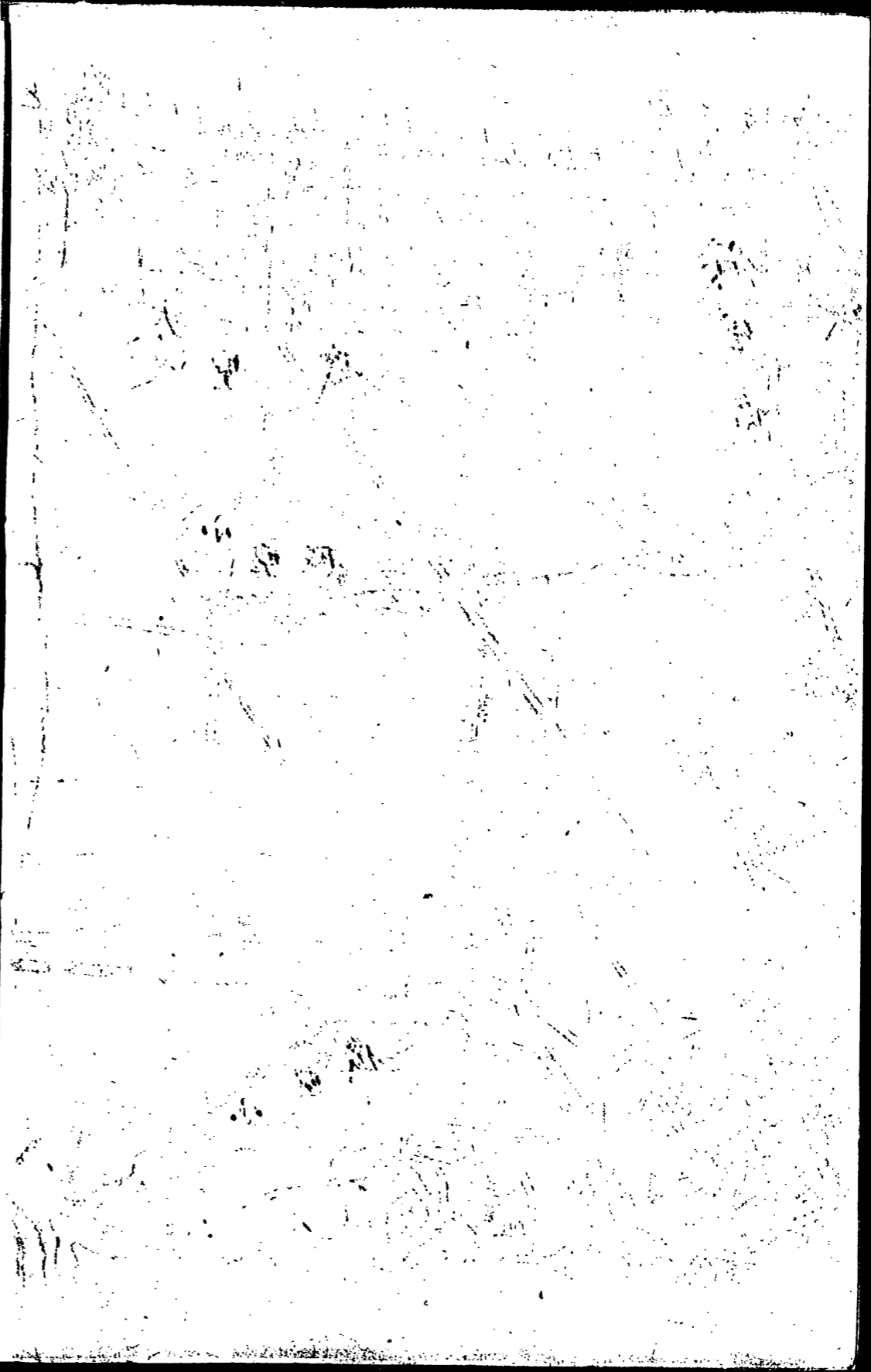
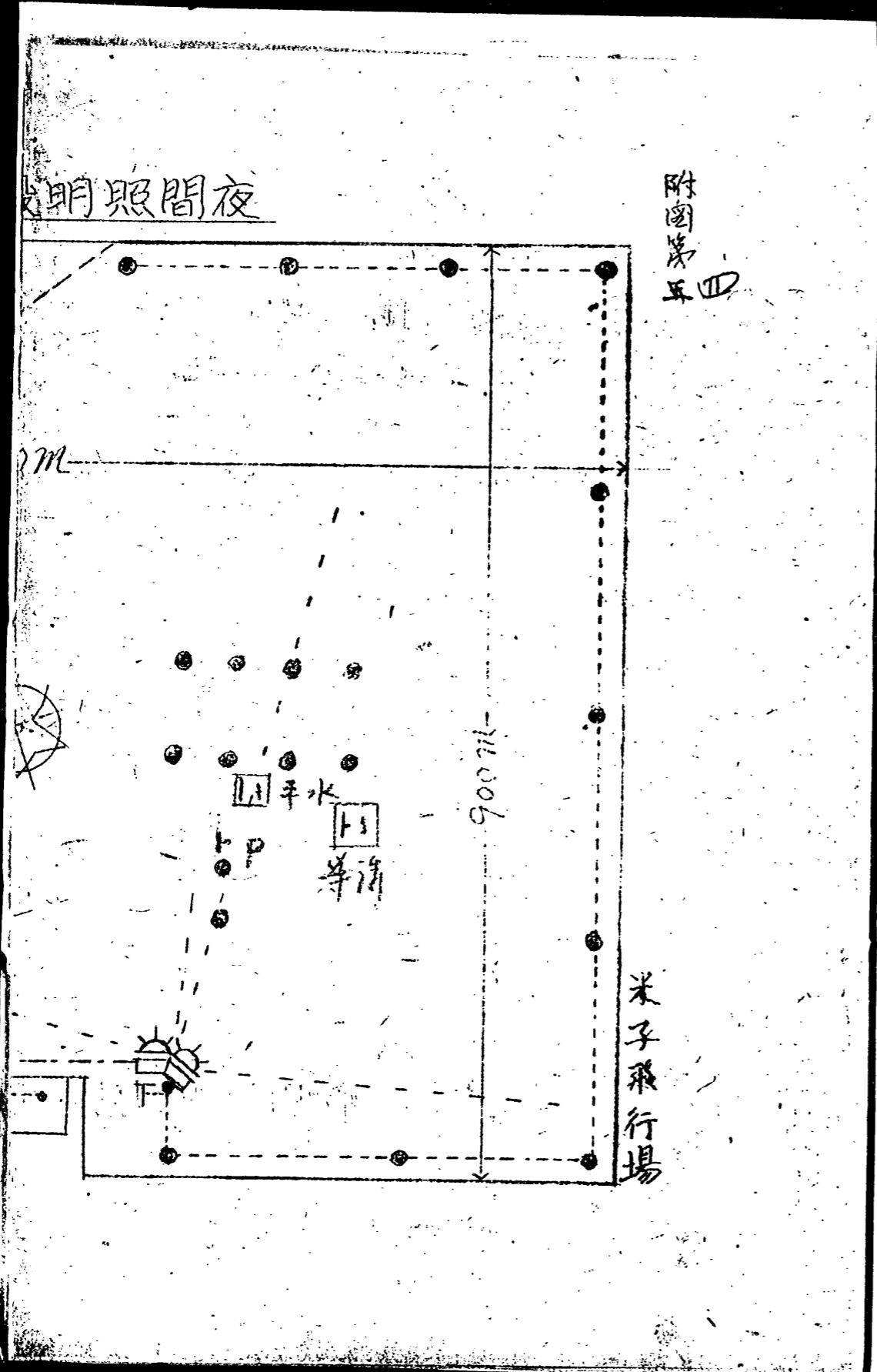




飛行情場内地区配及要圖



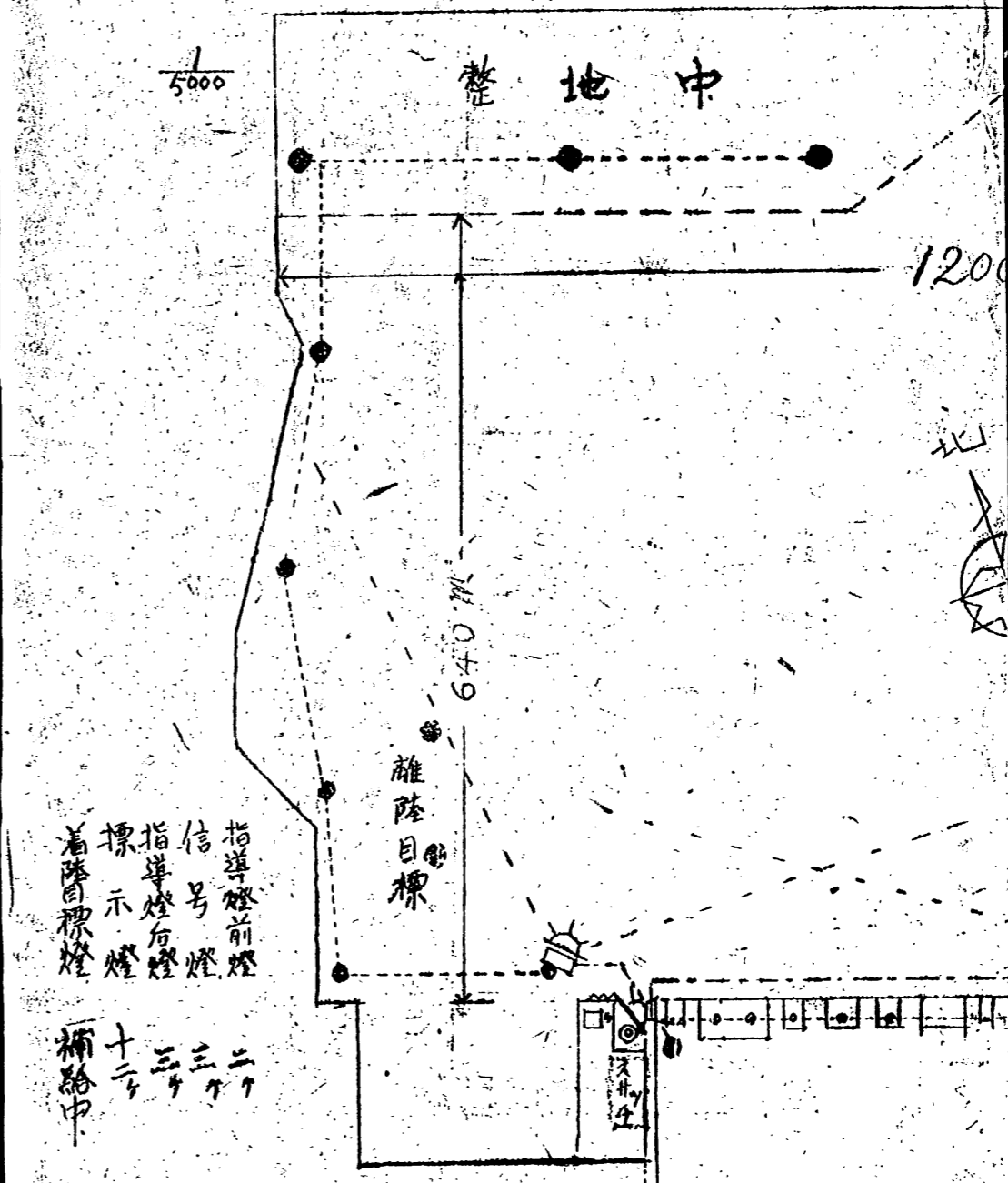
裏面白紙
めくれず



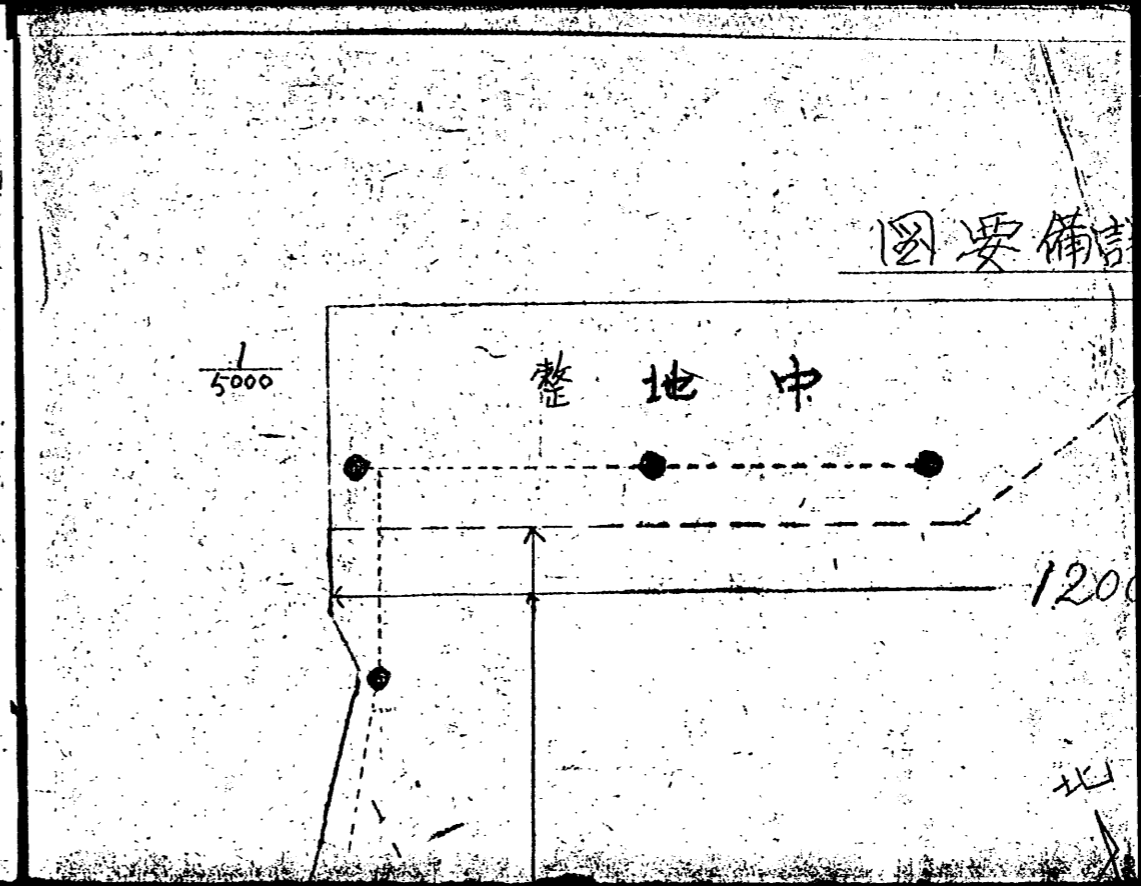


熊本 九州	防府 大正 八日市 小市 赤松 中前 立川 太刀洗 米子 第子 第九 第五 第六	配 布 志 部 配 布 光 部
新田原 知花	小月 小月 加古川 加古川 各務原 所澤 所澤 三國 三國 三國	部 教 正 部 教 正 部 教 正
	各 司 各 司 各 司 各 司	部 教 正 部 教 正 部 教 正
	◎部教各一部トス	部 教 正 部 教 正 部 教 正
	上海 支那 嘉義 台北 台湾 平壤 成興 蔚山 朝鮮 雁 兼 太刀洗 菅屋	部 教 正 部 教 正 部 教 正
		部 教 正 部 教 正 部 教 正

圖要備言



合 同 日 記 帳 簿
 一、 凡 屬 本 會 之 經 營 事 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 行 動
 二、 凡 屬 本 會 之 財 產 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 處 分
 三、 凡 屬 本 會 之 債 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 承 認
 四、 凡 屬 本 會 之 會 費 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 徵 收
 五、 凡 屬 本 會 之 會 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 辦 理
 六、 凡 屬 本 會 之 會 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 辦 理
 七、 凡 屬 本 會 之 會 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 辦 理
 八、 凡 屬 本 會 之 會 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 辦 理
 九、 凡 屬 本 會 之 會 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 辦 理
 十、 凡 屬 本 會 之 會 務 均 須 經 本 會 議 決 後 方 得 辦 理



Handwritten notes in vertical columns, likely providing details or a legend for the map.

圖要備言

1/5000

中地整

1200

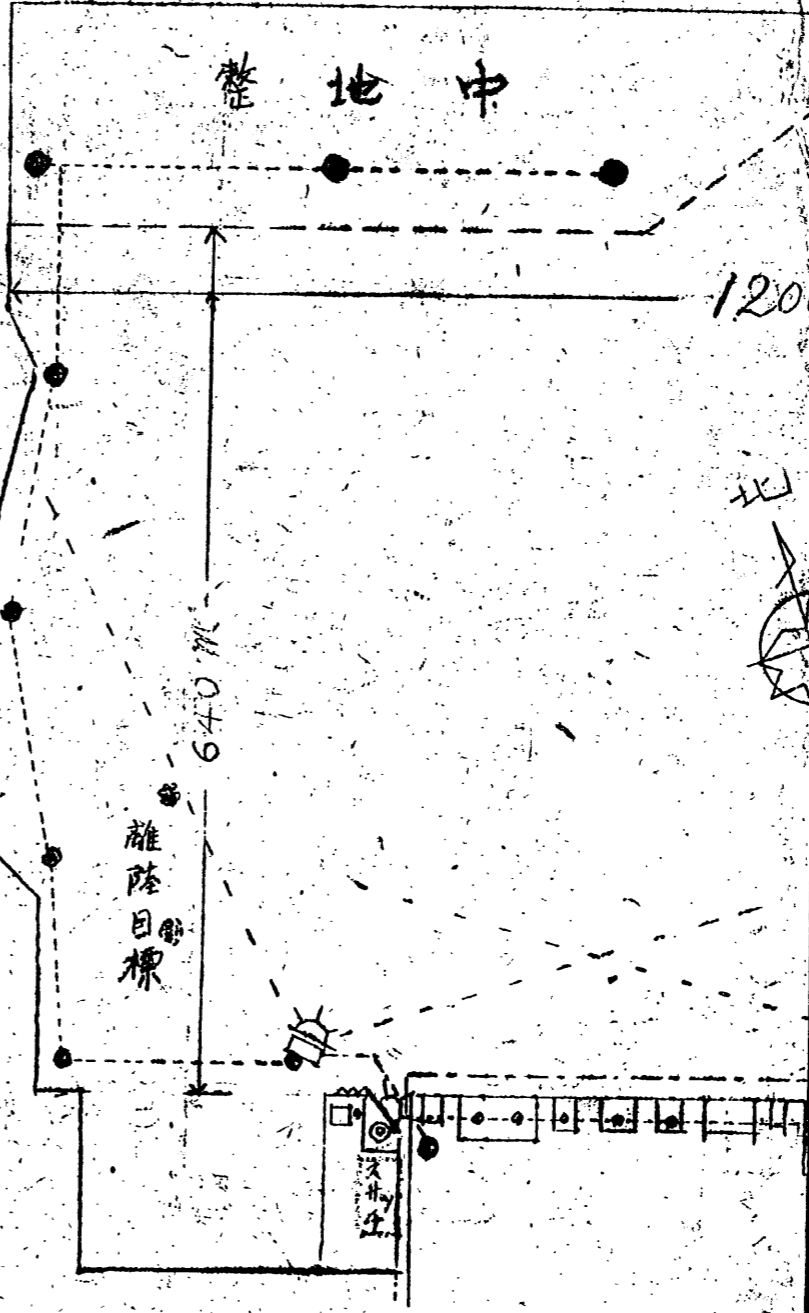
北

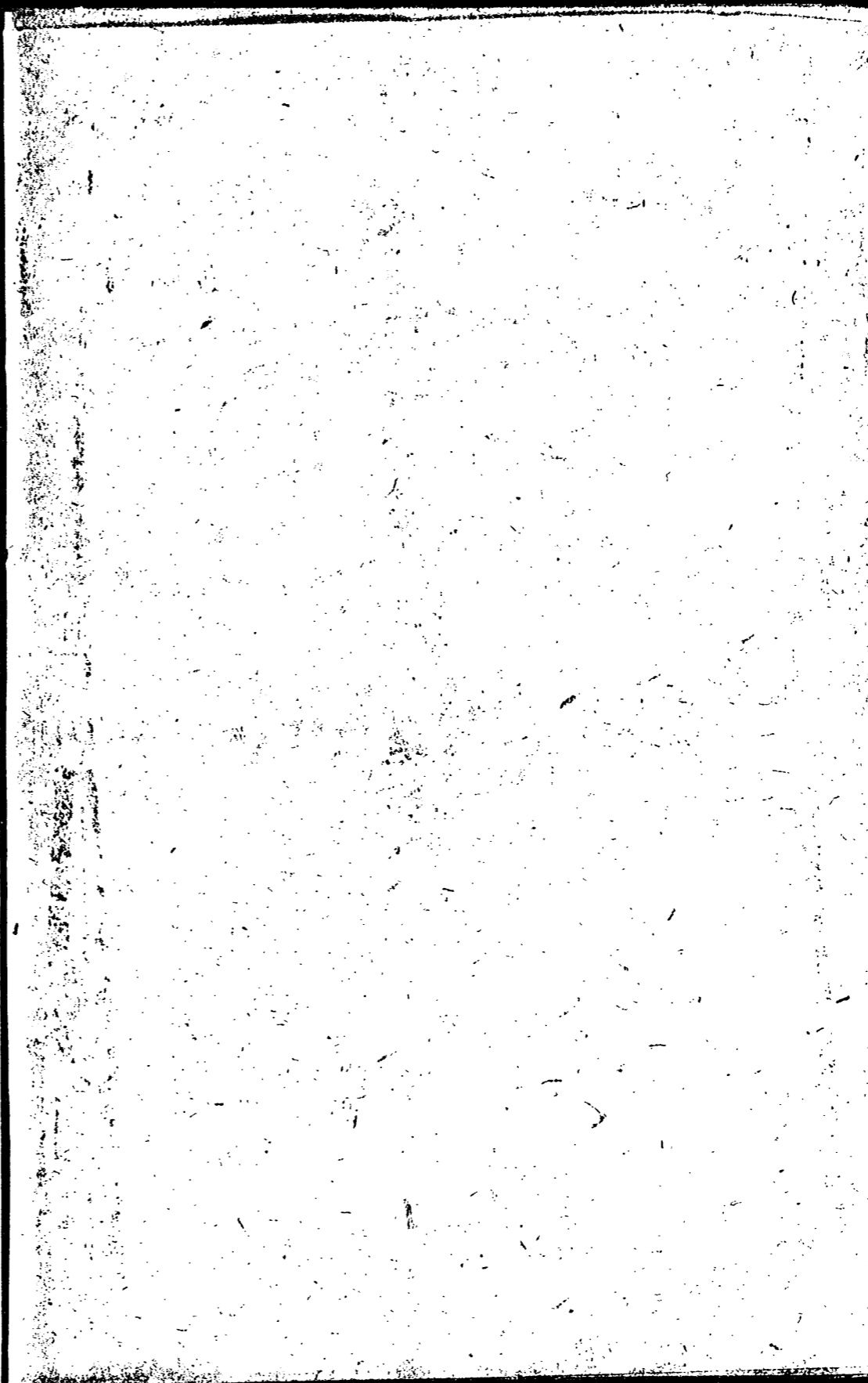
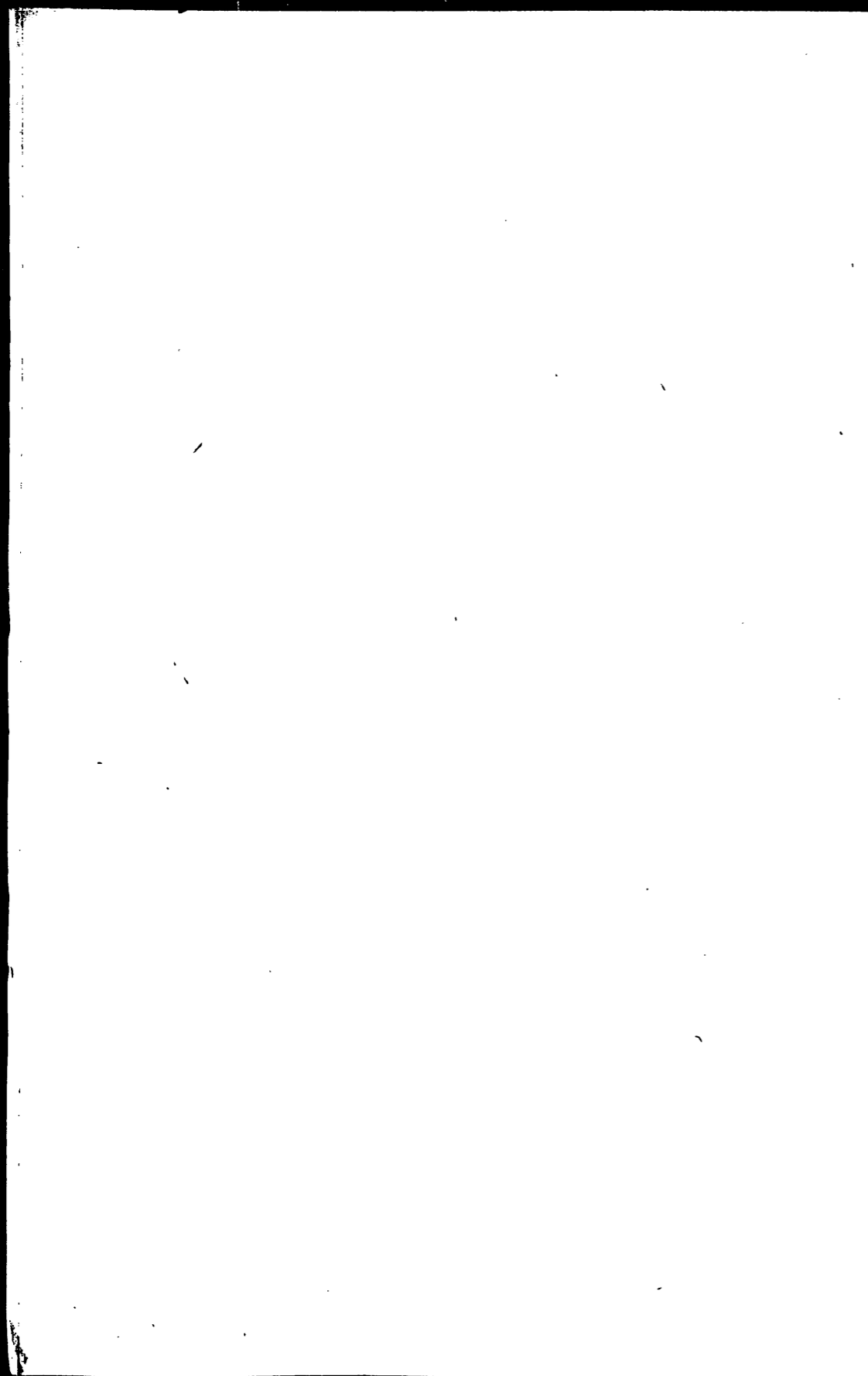
640 米

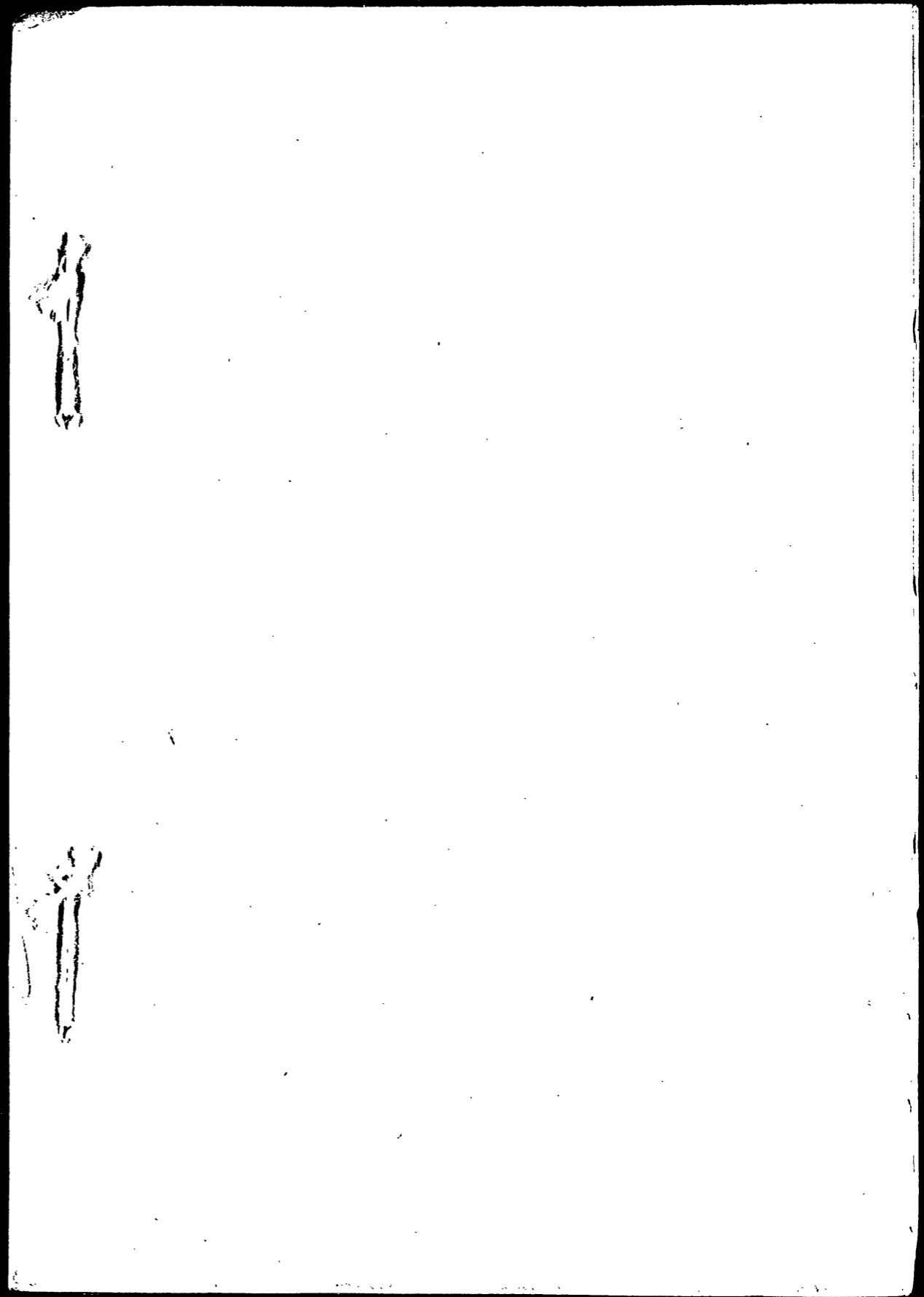
離陸目標

指導燈前燈
信号燈
指導燈右燈
標示燈
着陸目標燈

二
三
三
十
橋路中







1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

国立公文書館	
分類	
	㊦ ㊧
配架番号	3 A
	14
	25-14

高雄局執付

點川丸



公用

軍事郵便

艇長送

書留配達證明

急

在中物なし